

播陽証券 ～注目・外株銘柄～ (2023年6月)

【米国市場・20銘柄掲載】

(株価データ、株価指標は現地2023年5月30日現在)

<6月に追加>

P1【半導体】 オン・セミコンダクター(ON)

P2【SaaS系企業】 サービスナウ(NOW)

<継続>

P3【ハイテク主力】 アップル(AAPL)

P4【ハイテク主力】 アルファベット(GOOG)

P5【クラウド】 アマゾン・ドット・コム(AMZN)

P6【クラウド】 マイクロソフト(MSFT)

P7【ハイテク主力】 メタ・プラットフォームズ(META)

P8【動画配信】 ネットフリックス(NFLX)

P9【IT大手】 IBM(IBM)

P10【半導体】 エヌビディア(NVDA)

P11【半導体】 アドバンスト・マイクロ・デバイセズ(AMD)

P12【半導体】 ASMLホールディングADR(ASML)

P13【セキュリティ】 パロアルト・ネットワークス(PANW)

P14【電気自動車】 テスラ(TSLA)

P15【民間旅客機】 ボーイング(BA)

P16【生活必需品】 プロクター&ギャンブル(PG)

P17【飲料】 コカ・コーラ(KO)

P18【製薬大手】 イーライ・リリー(LLY)

P19【医療機器】 インテュイティブ・サージカル(ISRG)

P20【石油メジャー】 シェブロン(CVX)

<追加>

車載向け半導体大手

企業向けIT管理ソフトウェア企業

<継続>

デジタルIT機器の設計・販売大手

インターネット検索世界最大手

インターネット小売世界最大手

ソフトウェア世界最大手

米SNS運営世界最大手

動画配信世界最大手

IT業界の老舗企業

画像処理半導体(GPU)開発企業

米ロジック半導体大手

オランダの半導体製造装置大手

次世代ファイアウォール機器専門大手

米電気自動車(EV)大手

世界最大級の民間旅客機製造企業

世界最大の日用品メーカー

グローバル展開の飲料大手

米製薬大手

手術ロボット世界最大手

NYダウ工業株採用の世界的石油メジャー

自動車向けに強みを持つ半導体企業、SiCパワー半導体に積極投資

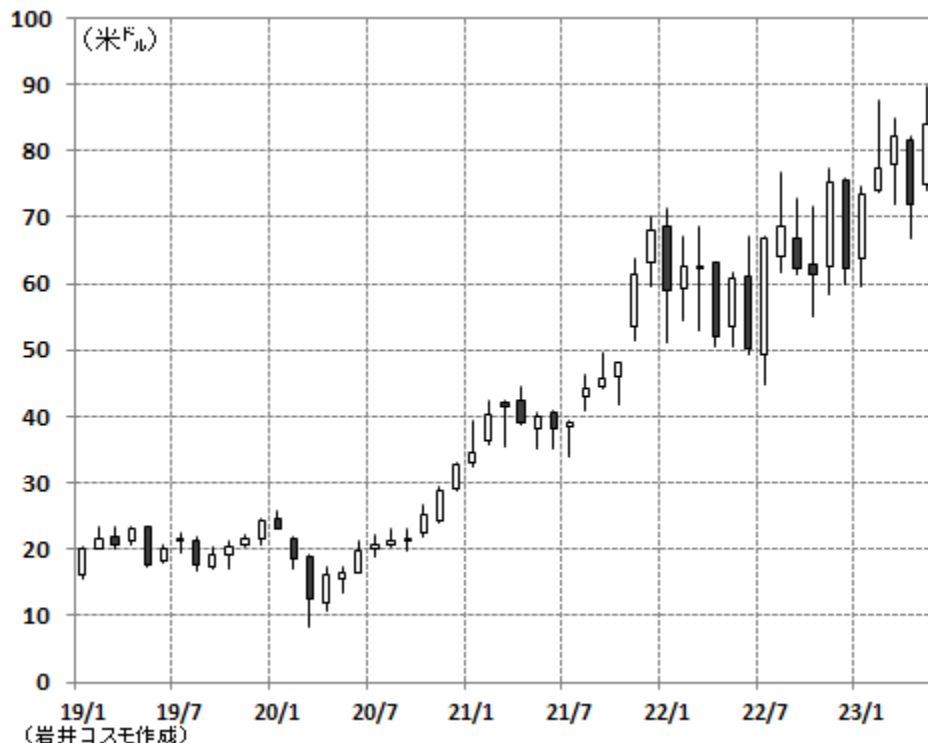
会社概要

1999年に米モトローラ社から分社化し誕生した総合半導体メカ。2000年にナスダック上場、10年に三洋電機の半導体事業を、16年に自動車向けに強いフェアチャイルド社を買収。電源の制御・供給を行うパワー半導体の大手で、売上高全体のおよそ半分を占めるほか、自動車向けのイメージセンサーでも高い市場シェアを持つ。本社はアリゾナ州フェニックス。従業員は約31,000人(22年末)。

注目ポイント

□ **シリコンカーバイド製のパワー半導体**: これまでパワー半導体の部材ではシリコン製が用いられてきたが、より性能が高く、省エネを実現できる炭化ケイ素(シリコンカーバイド)を部材としたSiCパワー半導体に注目が集まっている。オンセミはエルコリCEO就任した2020年頃からSiC事業に注力し、大規模な投資を加速させている。

□ **テスラのSiC削減方針にコメント**: 米テスラは次世代電気自動車(EV)では、省エネ性能は高いが高価となるSiC(シリコンカーバイド)を使用したパワー半導体の利用を75%削減する方針を示した。これに関してオンセミは、「長期契約には何ら変更はない」とし、投資家の懸念を払拭するコメントを発表した。



株価チャート (2019年以降・月足)

株価データ

株価(米ドル)	83.97 (05/30)
52週高値(日付)	89.8 (23/05/30)
52週安値(日付)	44.77 (22/07/05)
時価総額	363億ドル 5兆0,694億円
株価変化率(%)	11.7 (過去6ヶ月間) 37.3 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)

実績PER	16.0 (倍)
株価売上高比率	4.4 (倍)
PBR	5.6 (倍)
税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	32.0 (%)
株式ベータ	1.46 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2021/12	6,740	28	1,288	269	1,010	331	2.27	0.000
2022/12	8,326	24	2,360	83	1,902	88	4.25	0.000

四半期業績

2022/Q1	1,945	—	647	—	530	—	1.18	0.000
2023/Q1	1,960	1	565	-13	462	-13	1.03	0.000

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

導入企業の内勤業務の効率化・費用削減に貢献し高成長する企業

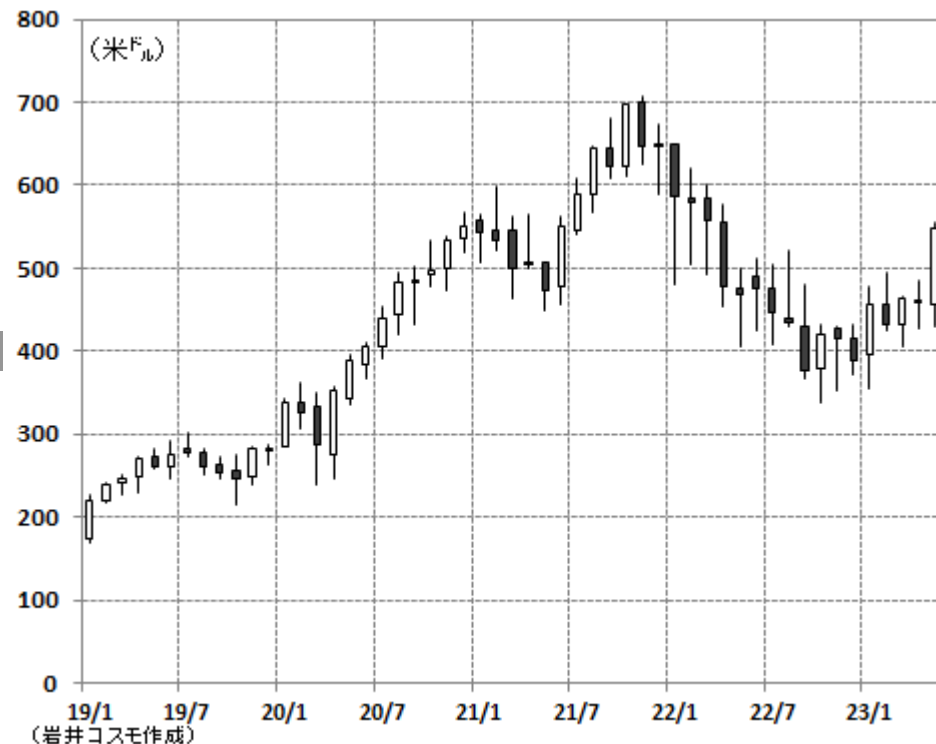
会社概要

米クラウド専門のソフトウェア企業。企業向けの社内ワークフローの自動化、業務プロセスの標準化を行う、社名と同じ「サービスナウ」というソフトウェアをクラウド形式で販売、顧客数は7,700社超。地域別売上(22年度)は北米65%、欧州等25%、アジア/太平洋が10%。2004年設立、12年6月にニューヨーク上場。本社はカリフォルニア州サンタクララ、従業員数は21,031名(23年3月末)。19年11月にS&P500指数に採用。

注目ポイント

□ **日本の大手も採用する社内効率化クラウド**：主力の業務効率改善ソフト「ワークフロークラウド」を中心に販売、社内ワークフローの自動化を通じて社内の部署間のやり取りの遅滞や情報共有上の課題を解決し、より効率的な業務の遂行が可能となる。クラウドのメリットを活かし、初期投資負担が軽く、経費節減と社内の効率化が同時に図られ、パナソニック、ヤマハ、NTTデータなど、日本大手企業の導入実績がある。

□ **エヌビディアと協業**：サービスナウとエヌビディアは協業し、企業の社内システムに生成AI(人工知能)を導入しやすくする。サービスナウのクラウドサービスにエヌビディアの対話型AIサービスの開発基盤等を活用する。



株価チャート (2019年以降・月足)

株価データ

株価(米ドル)	549.12 (05/30)
52週高値(日付)	556 (23/05/30)
52週安値(日付)	337.22 (22/10/13)
時価総額	1,119億ドル 15兆6,394億円
株価変化率(%)	31.9 (過去6ヶ月間) 15.3 (過去1年間)

株価指標 (バリュエーション)

実績PER	266.2 (倍)
株価売上高比率	14.6 (倍)
PBR	20.0 (倍)
税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	8.3 (%)
株式ベータ	1.47 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2021/12	5,896	30	257	29	230	94	1.13	0.00
2022/12	7,245	23	355	38	325	41	1.60	0.00

四半期業績

2022/Q1	1,722	—	87	—	75	—	0.37	0.00
2023/Q1	2,096	22	144	66	150	100	0.73	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

デジタルIT機器の設計・販売大手。収益の多様化が進む。

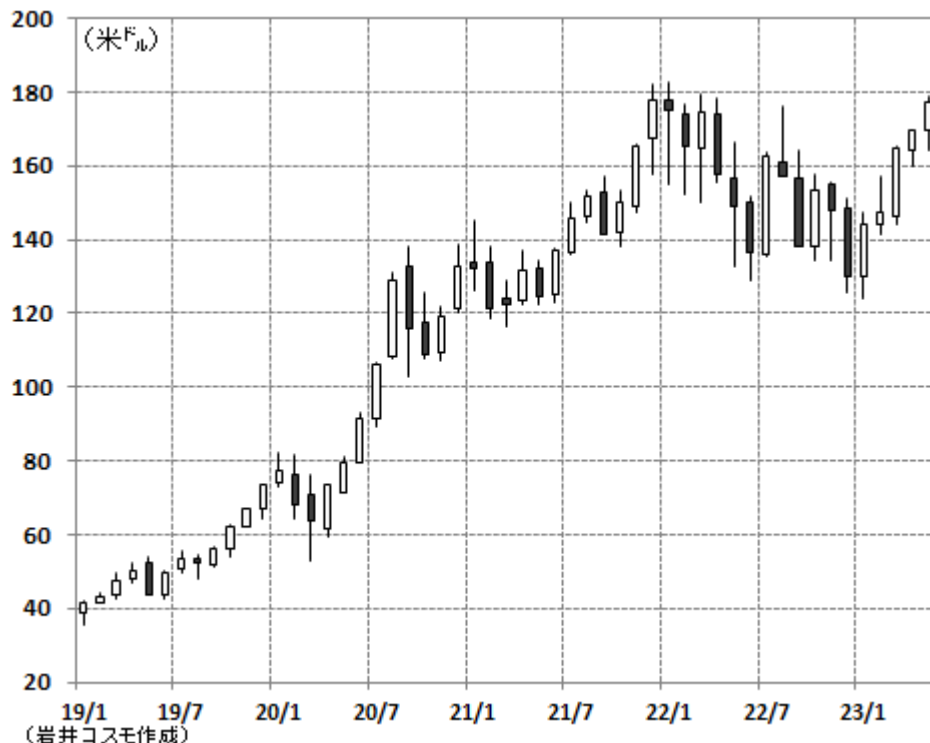
会社概要

スマートフォン(スマホ)「 아이폰 」や、タブレットPC「 アイパッド 」などデジタルIT機器を設計・販売。1977年に設立。スティーブ・ジョブズ氏が1997年に復帰し、次々と革新性のある製品投入、再興を果たす。2011年のジョブズ氏没後は現クックCEO体制へ、12年以降は大規模な株主還元策を開始。独自の基本ソフト開発やアプリ販売等で他社と一線を画す。15年3月、NYダウ工業株平均に採用された。

注目ポイント

□ **米国で預金サービスを提供**：アップルは4月17日、同社の米国のクレジットカード利用者向けに、年4.15%の利率で預金サービスの提供を始めたと発表。口座の管理は米ゴールドマン・サックスが担う。高めの金利で消費者を引き付け、「アップル経済圏」の拡大を目論む。

□ **「チャットGPT」の利用を制限**：アップルが一部の従業員に対し、対話型AI(人工知能)「チャットGPT」等の業務利用を制限していると一部メディアが報じた。社内の機密情報が漏洩する可能性を懸念しているとみられる。生成AIを巡っては同社も自社開発を進めているとみられ、採用ページには生成AIに関する求人が掲載されている。



株価チャート (2019年以降・月足)

株価データ

株価(米ドル)	177.3 (05/30)
52週高値(日付)	178.99 (23/05/30)
52週安値(日付)	124.18 (23/01/03)
時価総額	2兆7,887億ドル 389兆8322億円
株価変化率(%)	19.8 (過去6ヶ月間) 18.5 (過去1年間)

株価指標 (バリュエーション)

実績PER	30.1 (倍)
株価売上高比率	7.3 (倍)
PBR	44.8 (倍)
税前配当利回り(%)	0.54 (直近年率)
配当成長率(%)	4.5 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	145.6 (%)
株式ベータ	1.15 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2021/09	365,817	33	108,949	64	94,680	65	5.61	0.865
2022/09	394,328	8	119,437	10	99,803	5	6.11	0.900

四半期業績

2022/Q2	97,278	—	29,979	—	25,010	—	1.52	0.220
2023/Q2	94,836	-3	28,318	-6	24,160	-3	1.52	0.230

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

インターネット検索サービス世界最大手。ネット広告の次の収益基盤を模索

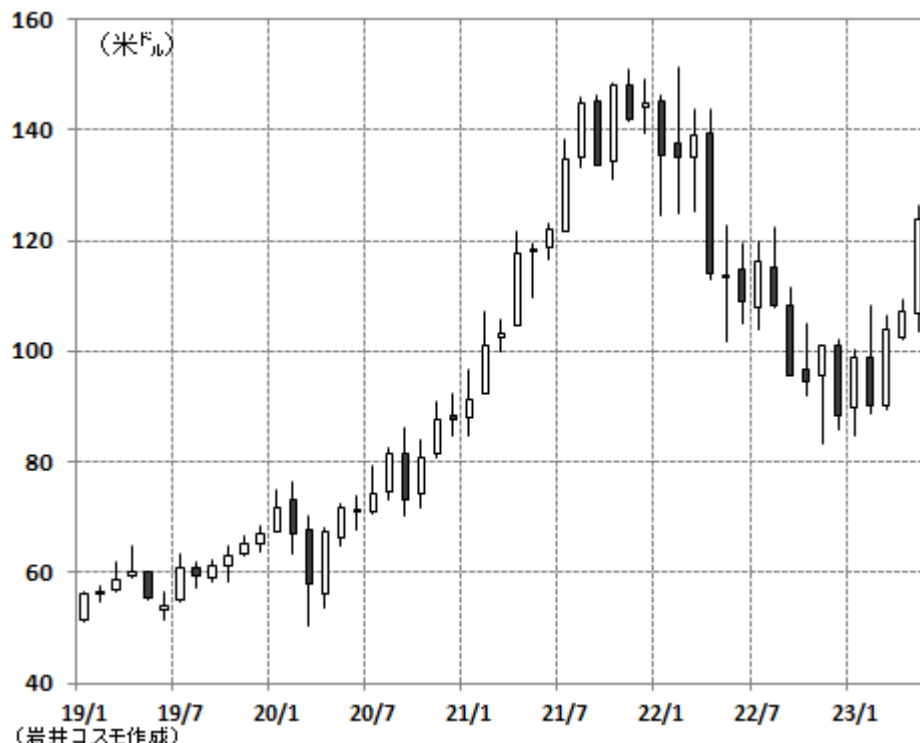
会社概要

ネット検索サービス世界最大手「グーグル」を傘下に置く持株会社。97年にサービス開始、04年8月上場。検索広告が主要収入源。革新力で定評があり、モバイル端末の無料基本ソフト「アンドロイド」は、同社の開発。また自動運転車などを社内で育成中。またアプリ・コンテンツ販売やクロームブック事業、クラウド型ビジネス向けソフトなどの事業展開も。本社はカリフォルニア州、従業員数は190,771人(23年3月末)。

注目ポイント

□ **生成AI技術をアップデート**: グーグルは文章や画像を自動で作成する生成AI(人工知能)を日本語を含む40超の言語で提供すると発表。電子メール「Gメール」との連携も図る。生成AIでは、マイクロソフトと提携するオープンAIの「チャットGPT」が先行しており、グーグルも対抗サービス「バード」を開発したが、真偽などの質を巡って「チャットGPT」に遅れを取っていた。

□ **クラウド事業が始めて黒字化**: アルファベットが4月25日に発表した1-3月期決算では、クラウド事業の営業損益が1.91億ドルの黒字と前年同期の7.06億ドルの赤字から黒字転換した。クラウド事業は採用などの負担が重く、営業赤字が継続していたが、四半期ベースとしては初めての黒字となった。



(岩井コスモ作成)

株価チャート (2019年以降・月足)

株価データ

株価(米ドル)	123.67 (05/30)
52週高値(日付)	126.42 (23/05/22)
52週安値(日付)	83.34 (22/11/03)
時価総額	1兆5,764億ドル 220兆3599億円
株価変化率(%)	22.5 (過去6ヶ月間) 10.1 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)

実績PER	25.5 (倍)
株価売上高比率	5.6 (倍)
PBR	6.0 (倍)
税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	22.8 (%)
株式ベータ	1.15 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2021/12	257,637	41	78,714	91	76,033	89	5.61	0.00
2022/12	282,836	10	74,842	-5	59,972	-21	4.56	0.00

四半期業績

2022/Q1	68,011	—	20,094	—	16,436	—	1.23	0.00
2023/Q1	69,787	3	17,415	-13	15,051	-8	1.17	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

インターネット小売世界最大手。ネット通販とクラウド受託サービス事業双方が成長

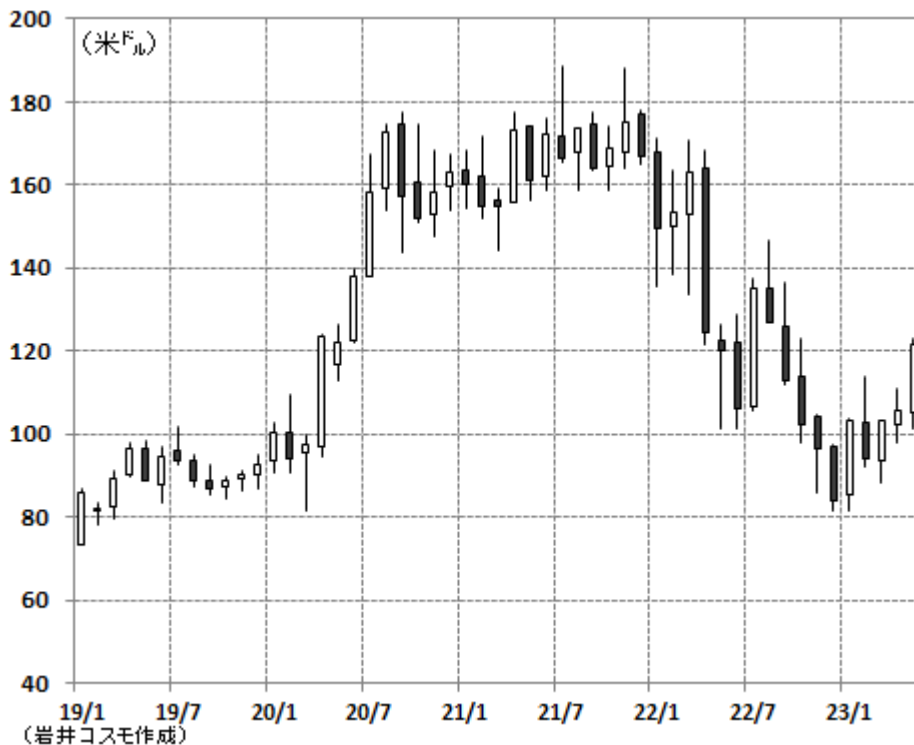
会社概要

インターネット小売世界最大手。ジェフ・ベゾス氏が設立、95年にサービス開始。書籍中心の取扱いから急速に品揃えを拡充。電子書籍端末「キンドルファイア」シリーズ等を投入、新市場開拓に意欲的。世界で個人有料会員は2億人を超え、動画や音楽の配信サービスを提供、法人向けのデータセンター利用サービスでも存在感が高い。近年はAI家電のスピーカー型のエコが世界中でヒット。本社はワシントン州シアトル。

注目ポイント

□ **生成AIに参入**: アマゾンは4月13日、クラウドを通じ、文書などを自動で作成する生成人工知能(AI)を提供すると発表。クラウド事業のAWSを通じて、自社開発の生成AIや新興企業が開発した技術の基盤を提供する。生成AIを巡っては、マイクロソフトなどの米IT大手が開発を競っており、アマゾンは外部の技術も活用することで差別化を図る。

□ **スマートスピーカーに生成AI機能を追加**: アマゾンは音声で操作するスマートスピーカーの新製品を発表した。新製品「エコポップ」は米国での価格を約40ドルとし、従来の「エコ」シリーズより安く設定。発売後も生成AI(人工知能)の技術を追加し、機能を高度化していくとした。



株価チャート (2019年以降・月足)

株価データ

株価(米ドル)	121.66 (05/30)
52週高値(日付)	146.57 (22/08/16)
52週安値(日付)	81.44 (23/01/06)
時価総額	1兆2,483億ドル 174兆4963億円
株価変化率(%)	26.0 (過去6ヶ月間) 5.7 (過去1年間)

株価指標 (バリュエーション)

実績PER	131.2 (倍)
株価売上高比率	2.4 (倍)
PBR	8.1 (倍)
税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	3.0 (%)
株式ベータ	1.31 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2021/12	469,822	22	24,879	9	33,364	56	3.24	0.00
2022/12	513,983	9	12,248	-51	-2,722	赤転	-0.27	0.00

四半期業績

2022/Q1	116,444	—	3,669	—	-3,844	—	-0.38	0.00
2023/Q1	127,358	9	4,774	30	3,172	黒転	0.31	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

ソフトウェア世界最大手。生成AI技術実装・クラウド事業で成長回帰へ

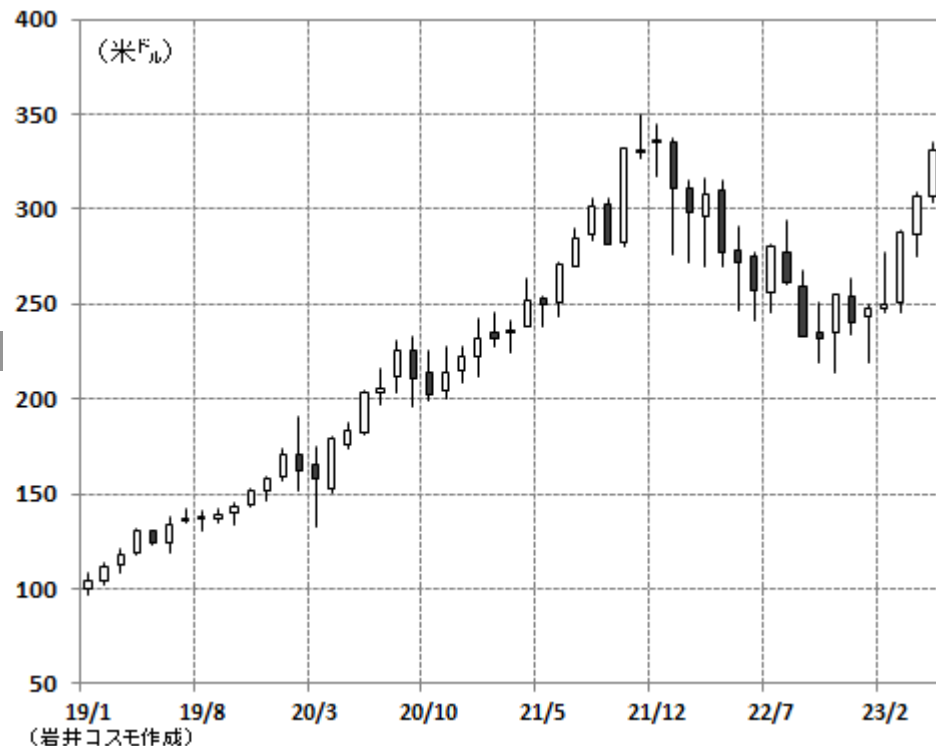
会社概要

ソフトウェア世界最大手。1975年創業。80～90年代にウィンドウズ(OS:基本ソフト)とオフィス(ワード、エクセル等)で急成長。ほかゲームやネット広告等も手掛け、企業から消費者向けまで幅広く事業を展開。2016年12月にビジネス向けSNSサイトの「リンクイン」を買収。2014年に就任したナデラCEOのもと、デバイス・サービス戦略から生産性やモバイル、クラウドを重視した経営に軸足を移している。

注目ポイント

□ **クラウド事業の拡大が奏功**: マイクロソフトはクラウドインフラ市場(IaaS)で首位アマゾンウェブサービス(AWS)に次ぐ位置にあり、2強体制を構築。収益性の改善のため、製品からクラウドサービスに収益構造を移行中。特にワードやエクセル等クラウド版の「オフィス365」や、データ受託管理の「アジュール」、リンクインなどが成長役である。

□ **対話型AIを「エクセル」や「パワーポイント」に応用**: マイクロソフトは3月16日、対話型AIを「エクセル」や「パワーポイント」に搭載すると発表した。「エクセル」では、「グラフを作って」と指示すれば数秒でAIがグラフを自動作成してくれるようになる。



株価チャート (2019年以降・月足)

株価データ

株価(米ドル)	331.21 (05/30)
52週高値(日付)	335.74 (23/05/30)
52週安値(日付)	213.46 (22/11/04)
時価総額	2兆4.627億ドル 344兆2619億円
株価変化率(%)	29.8 (過去6ヶ月間) 21.2 (過去1年間)

株価指標 (バリュエーション)

実績PER	35.3 (倍)
株価売上高比率	11.9 (倍)
PBR	12.7 (倍)
税前配当利回り(%)	0.82 (直近年率)
配当成長率(%)	9.9 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	38.6 (%)
株式ベータ	1.12 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2021/06	168,088	18	69,916	32	61,271	38	8.05	2.24
2022/06	198,270	18	83,383	19	72,738	19	9.65	2.48

四半期業績

2022/Q3	49,360	—	20,364	—	16,728	—	2.22	0.62
2023/Q3	52,857	7	22,352	10	18,299	9	2.45	0.68

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

メタ・プラットフォームズ(META)

38億人のユーザーを抱える世界最大のSNS運営会社

上場市場
ナスダック

セクター
インターネットサービス

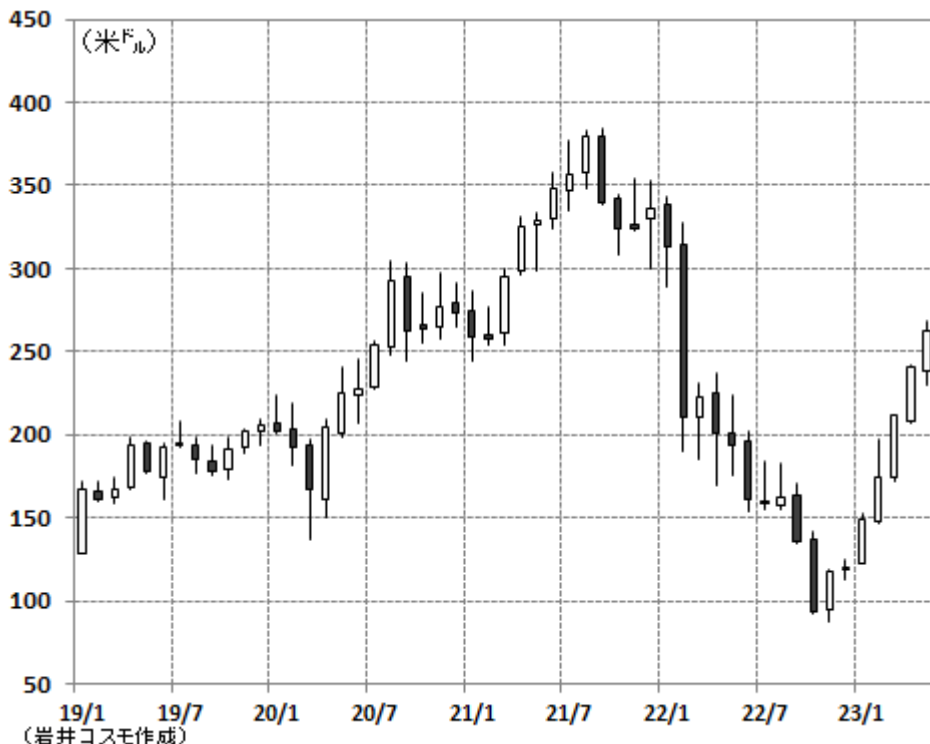
会社概要

世界最大のSNS運営会社。2004年設立、会員数(月間稼動、インスタグラムなども含む)は全世界で38.1億人(23年1-3月期)。マーク・ザッカーバーグ氏が大学在学時代に立ち上げ、サクセス・ストーリーは映画化された。21年に社名を「フェイスブック」から現在の「メタ・プラットフォームズ」に変更し、メタバースに注力する姿勢を鮮明にした。本社はカリフォルニア州メンロパーク、従業員数は約77,114人(23年3月末時点)。

注目ポイント

□ **対話型AIを公開**: メタは2月24日、対話や文章の生成ができる人工知能(AI)の新たな言語モデル「LLaMA」を発表した。新たなモデルは研究者向けに限定公開となる。「LLaMA」はAIの規模を示す「パラメータ」の数が最大650億で、米オープンAIの言語モデル「GPT3」の1,750億より小さいが、性能は「GPT3」を上回るとした。

□ **AI向け独自半導体を開発へ**: メタは5月18日、人工知能(AI)向け半導体を独自開発すると明らかにした。自社ソフトに最適な半導体を作り、処理能力の向上や消費電力の低減につなげる。AI半導体の開発は米グーグルなども強化しており、競争が激化している。



株価チャート (2019年以降・月足)

株価データ

株価(米ドル)	262.52 (05/30)
52週高値(日付)	268.61 (23/05/30)
52週安値(日付)	88.1 (22/11/04)
時価総額	6,728億ドル 94兆0463億円
株価変化率(%)	122.3 (過去6ヶ月間) 34.5 (過去1年間)

株価指標 (バリュエーション)

実績PER	23.7 (倍)
株価売上高比率	5.9 (倍)
PBR	5.4 (倍)
税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	17.3 (%)
株式ベータ	1.22 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2021/12	117,929	37	46,753	43	39,370	35	13.77	0.00
2022/12	116,609	-1	28,944	-38	23,200	-41	8.59	0.00

四半期業績

2022/Q1	27,908	—	8,524	—	7,465	—	2.72	0.00
2023/Q1	28,645	3	7,227	-15	5,709	-24	2.20	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

動画配信サービス最大手。広告付きプランで会員増と広告収入獲得を目指す

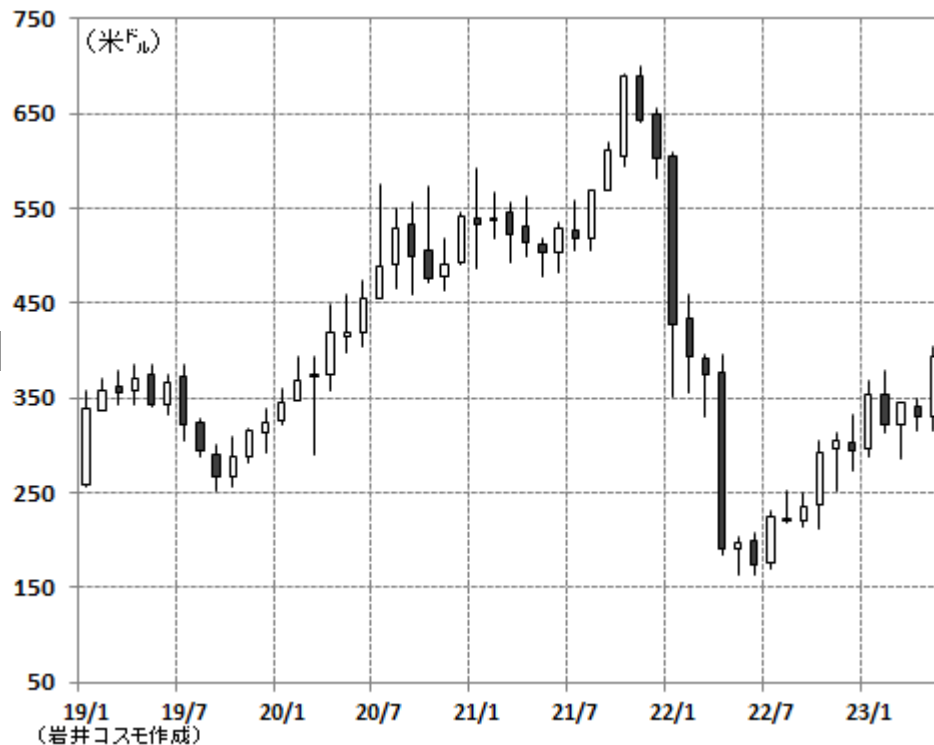
会社概要

1997年創立。オンラインDVDレンタルと映画やTV番組のネット配信(ストリーミング)を手掛ける。ネット宅配DVDレンタルから始めたが、現在は動画配信事業が主力。人気映画、テレビ番組を豊富に揃えるが、近年は自社制作番組を強化中。21年には韓国ドラマ「イカゲーム」が世界的に大ヒットするなど、オリジナルコンテンツの影響力は年々拡大。22年11月から広告付きプランの提供を開始した。

注目ポイント

□ **アカウント共有に厳格対処**: Netflixは他人のアカウントを共有している米国の視聴者に厳しく対応する措置を4-6月期に開始する。同社は1億人超が料金を支払わずに同社のアカウントを利用していると推定。アカウント共有を規制することで、今後の会員数が押し上げられる可能性がある。先行して共有を厳格化したカナダでは、顧客基盤が拡大している。

□ **広告プランが堅調**: Netflixは5月17日、広告付きの低価格プランの月間アクティブユーザー数が導入後6ヶ月で500万人に達したと、ニューヨークで開催された広告主向けのイベントで発表した。今回の発表で、「広告プランは低調」との懸念を打ち消す内容となった。



株価チャート (2019年以降・月足)

株価データ

株価(米ドル)	392.98 (05/30)
52週高値(日付)	405.1 (23/05/30)
52週安値(日付)	164.3 (22/06/14)
時価総額	1,747億ドル 24兆4,207億円
株価変化率(%)	28.6 (過去6ヶ月間) 101.3 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)

実績PER	45.4 (倍)
株価売上高比率	5.5 (倍)
PBR	8.0 (倍)
税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	21.3 (%)
株式ベータ	1.48 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2021/12	29,698	19	6,195	35	5,116	85	11.24	0.00
2022/12	31,616	6	5,633	-9	4,492	-12	9.95	0.00

四半期業績

2022/Q1	7,868	—	1,972	—	1,597	—	3.53	0.00
2023/Q1	8,162	4	1,714	-13	1,305	-18	2.88	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

播陽証券

社名 (ティッカー)

I B M(IBM)

上場市場

ニューヨーク

セクター

ITサービス

分社化で組織再編したIT(情報技術)業界の老舗。融合型クラウド、ブロックチェーンで巻き返しを図る

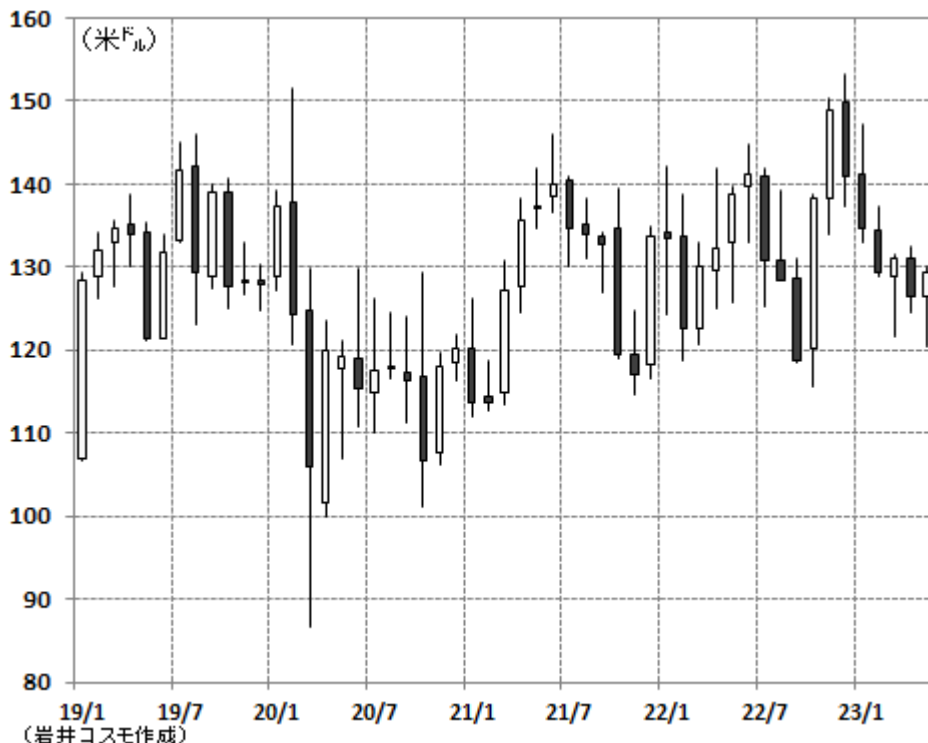
会社概要

1910年設立。老舗企業でコンピュータサービス大手。米国特許取得の年間件数では28年連続の首位。1960-70年代にメインフレーム(大型汎用コンピュータ)事業で一時代を築いた。近年は「ビッグデータ」分析やAIスパコン「ワトソン」で業界の新潮流を生んだ。他方、クラウド化ではアマゾン等に後塵を拝した。NYダウ工業株平均及び、25年以上連続増配企業からなるS&P500配当貴族指数の構成銘柄。

注目ポイント

□ **組織再編進展、ハイブリッドクラウド強化**: 2019年にオープンソース大手のレッドハットを買収、21年11月にはITインフラサービス事業を分社化、オンプレミス(自社運用)とクラウドの融合型の「ハイブリッドクラウド」と人工知能(AI)等の分野に経営資源のシフトを図った。

□ **法人向けAI「ワトソンX」を発表**: IBMは5月9日に開催した年次イベントで、法人顧客向けの人工知能(AI)「ワトソンX」を発表した。処理能力の精度やデータ管理能力を高め、企業が安心して使えるように工夫した。オープンAIの「チャットGPT」の登場により企業間で高まっているAI導入ニーズに対応する。



株価チャート (2019年以降・月足)

株価データ

株価(米ドル)	129.48 (05/30)
52週高値(日付)	153.16 (22/12/13)
52週安値(日付)	115.55 (22/10/13)
時価総額	1,176億ドル 16兆4,356億円
株価変化率(%)	-13.0 (過去6ヶ月間) -7.0 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)

実績PER	15.0 (倍)
株価売上高比率	1.9 (倍)
PBR	5.4 (倍)
税引前配当利回り(%)	5.13 (直近年率)
配当成長率(%)	0.6 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	9.0 (%)
株式ベータ	0.75 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	税引前利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2021/12	57,350	—	4,837	—	5,743	—	6.35	6.55
2022/12	60,530	6	1,156	-76	1,639	-71	1.80	6.59

四半期業績

2022/Q1	14,197	—	623	—	733	—	0.81	1.64
2023/Q1	14,252	0	1,058	70	927	26	1.01	1.65

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

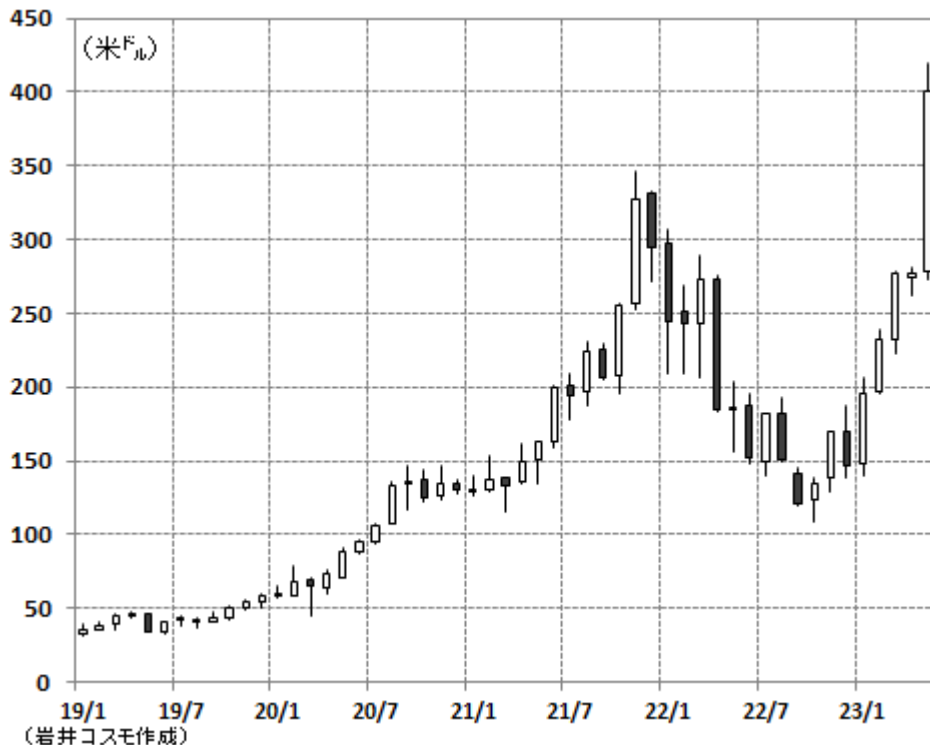
「人工知能(AI)」、「自動運転」の新市場に半導体を供給

会社概要

1993年設立の米国の半導体メーカ。コンピュータのグラフィックス処理や演算処理の高速化を主な目的とするGPU(画像処理半導体)を設計・開発する。自社で製造を行なわないファブレスメーカで台湾セミコンダクタや韓国サムスン電子に製造を委託。用途別売上構成は、ゲーム市場向けが34%、視覚化技術に関するプロ向けが6%、AIを含むデータセンター向けが56%、自動車向けが3%、OEM&IPが2%(23年1月期)。

注目ポイント

- 「AI」の計算処理に同社GPUが活躍: IBMやアマゾン、マイクロソフト、アルファベットなどのIT大手各社は「深層学習(自ら学ぶ)」といった新技術を用いた人工知能の計算処理に同社半導体を利用している。
- 5-7月期は強気見通しを提示: エヌビディアが5月24日に発表した23年5-7月期のガイダンスでは、売上高を前年同期比61~67%増の107.8億~112.2億ドルとし、市場予想の71.8億ドルを大幅に上回る見通しを示した。会社側は「生成AI(人工知能)関連が需要を押し上げる」とし、「(AI関連のGPUの)供給を大幅に増やしている」とした。



株価チャート (2019年以降・月足)

株価データ

株価(米ドル)	401.11 (05/30)
52週高値(日付)	419.36 (23/05/30)
52週安値(日付)	108.14 (22/10/13)
時価総額	9,907億ドル 1,38兆4,958億円
株価変化率(%)	137.0 (過去6ヶ月間) 113.2 (過去1年間)

株価指標 (バリュエーション)

実績PER	194.7 (倍)
株価売上高比率	38.4 (倍)
PBR	40.5 (倍)
税前配当利回り(%)	0.04 (直近年率)
配当成長率(%)	0.0 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	18.9 (%)
株式ベータ	1.68 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/01	26,914	61	10,041	122	9,752	125	3.85	0.16
2023/01	26,974	0	4,224	-58	4,368	-55	1.74	0.16

四半期業績

2023/Q1	8,288	—	1,868	—	1,618	—	0.64	0.04
2024/Q1	7,192	-13	2,140	15	2,043	26	0.82	0.04

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

インテルやエヌビディアのライバル半導体メーカー。市場シェア獲得に期待

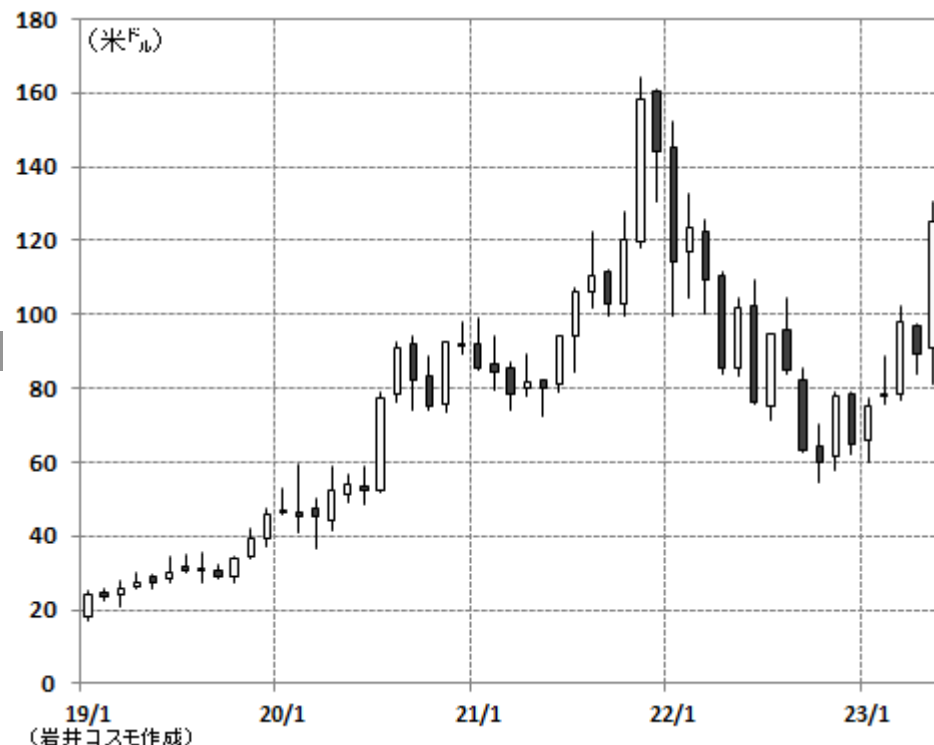
会社概要

1969年設立の老舗半導体メカ。現在は演算処理(CPU)・画像処理用半導体(GPU)、チップセットの開発・販売専門企業。2006年にGPU大手のATI社を買収、2011年に画像処理機能統合型半導体APUを市場投入。APUは最新「Xbox シリーズX/S」、「プレイステーション5」等に採用され、据置型ゲーム機市場で存在感。22年にはプログラマブル半導体に強みを持つ同業のザイリンクスを買収した。

注目ポイント

□ **インテルやエヌビディアに大きく劣後も巻き返し目指す**: AMDはインテルのCPUやエヌビディアのGPUに対抗製品を提供できる稀有な半導体企業。ただPCやサーバ向けCPUがインテルが圧倒的シェア。GPUの分野でもエヌビディアに後塵を拝している。ただ近年は優秀な半導体設計者を他社から引き戻し、巨人インテルの牙城の切り崩しにかかる。

□ **AIチップ開発でマイクロソフトと協業観測**: マイクロソフトはAMDがAIプロセッサの分野へ進出するのに協力していると複数の関係者の話を基に一部メディアが報じた。両社は協力し、GPUのAI対応チップ市場で圧倒的優位に立つエヌビディアに対抗する狙いがあるとみられる。



株価チャート (2019年以降・月足)

株価データ

株価(米ドル)	125.27 (05/30)
52週高値(日付)	130.79 (23/05/30)
52週安値(日付)	54.58 (22/10/13)
時価総額	2,017億ドル 28兆1,998億円
株価変化率(%)	61.4 (過去6ヶ月間) 22.5 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)

実績PER	288.3 (倍)
株価売上高比率	8.8 (倍)
PBR	3.7 (倍)
税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	0.7 (%)
株式ベータ	1.55 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2021/12	16,434	68	3,648	166	3,162	27	2.57	0.00
2022/12	23,601	44	1,264	-65	1,320	-58	0.84	0.00

四半期業績

2022/Q1	5,887	—	951	—	786	—	0.56	0.00
2023/Q1	5,353	-9	-145	赤転	-139	赤転	-0.09	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

オランダの半導体製造装置世界大手。「EUV露光」の唯一のメーカー

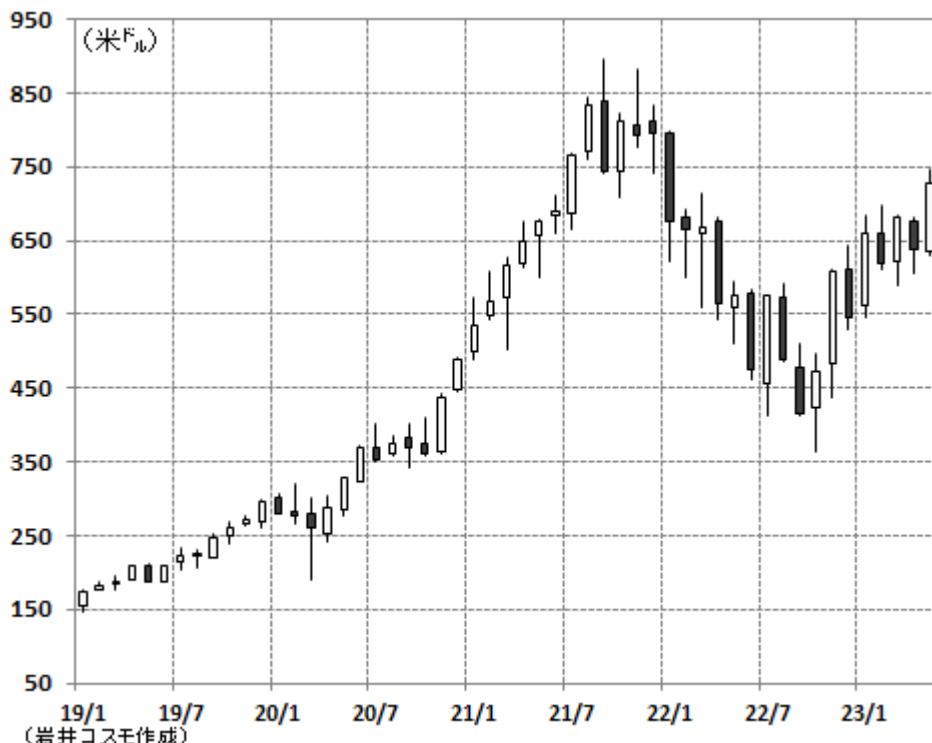
会社概要

オランダの半導体製造装置メーカー。半導体製造工程の前工程の装置メーカーの2018年の売上規模で、首位の米アプライト・マテリアルズに次ぐ2位に位置する。半導体の回路をシリコンウエハ上に焼き付ける露光装置のシェアの約8割を抑える。1984年オランダのフィリップス社と半導体商社ASMインターナショナルに折半出資された会社が起源。本社はオランダ・フェルトホーヘン、従業員数は37,704人(23年4月時点)。

注目ポイント

□ **EUV露光で世界をリード**：世界で唯一単独供給する「EUV露光装置」は、光源に屈折率の大きな極端紫外線を用いて、より細かい電子回路を焼き付けることが可能であり、先端半導体の開発に大きく貢献。「EUV露光装置」は巨額な研究開発費もあり、1台1億ユーロ以上と高額だが、22年度は前年比2台減の40台を出荷した。

□ **好調なガイダンスを提示**：4月19日に発表した決算の中で、23年4-6月期のガイダンスを提示。売上高を65億～70億ユーロとし、市場予想の64.2億ユーロを下限でも上回った。会社側は、同社の半導体製造装置の総需要が年内は供給能力を上回り続けると指摘した。



株価チャート (2019年以降・月足)

株価データ

株価(米ドル)	728.26 (05/30)
52週高値(日付)	747.06 (23/05/30)
52週安値(日付)	363.31 (22/10/13)
時価総額	2,936億ドル 41兆0,409億円
株価変化率(%)	19.8 (過去6ヶ月間) 24.8 (過去1年間)

株価指標 (バリュエーション)

実績PER	39.4 (倍)
株価売上高比率	11.0 (倍)
PBR	27.9 (倍)
税前配当利回り(%)	1.02 (直近年率)
配当成長率(%)	1.4 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	73.5 (%)
株式ベータ	1.61 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ユーロ)	前同比 (%)	営業利益 (百万ユーロ)	前同比 (%)	当期利益 (百万ユーロ)	前同比 (%)	1株利益 (ユーロ)	配当 (ユーロ)
2021/12	18,611	—	6,750	—	5,883	—	14.34	3.35
2022/12	21,173	14	6,501	-4	5,624	-4	14.13	6.44

四半期業績

2022/Q1	3,534	—	785	—	695	—	1.73	—
2023/Q1	6,746	91	2,205	2.8倍	1,956	2.8倍	4.95	—

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

次世代ファイアウォール機器専門大手。インターネットセキュリティ関連の代表格

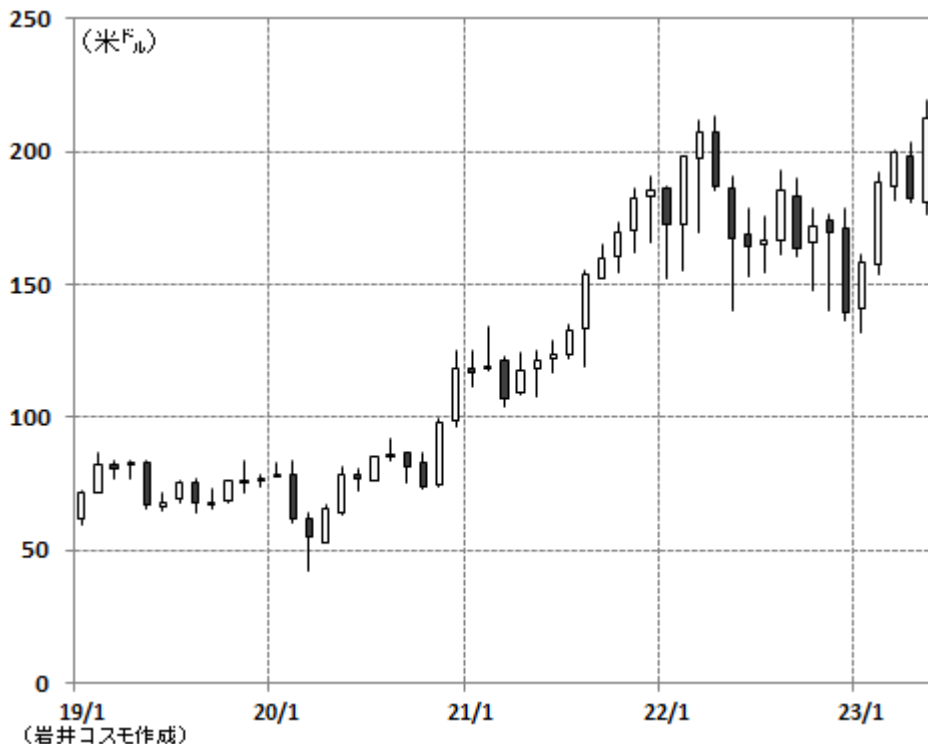
会社概要

2005年設立の「次世代ファイアウォール」機器の専門大手。高度なソフトウェアが組み込まれた製品は、インターネット・セキュリティ上の「ファイアウォール（防火壁）」となり、外部ネットワークからの攻撃や不正なアクセスに対して自分達のネットワークやコンピュータを防御する役割を担う。次世代のファイアウォールの特徴は、包括的なセキュリティ対策を高速処理で行う点にある。本社はカリフォルニア州サンタクララ。

注目ポイント

□ **セキュリティ対策は企業のIT投資の最優先事項**：不正アクセスによる個人情報・顧客情報の流出により、米国ではトップが引責辞任する等、各社対策強化に迫られている。同社は専門の強みを活かしてネットワーク機器大手からシェアを奪いながら急成長。全世界で6万団体超の顧客を抱え、日本ではインターネットイニシアティブ、東京大学、サイバーエージェント、KDDI等に導入実績あり。

□ **ベンダー別の市場シェアは首位**：米調査会社(カナリス社)が発表した22年10-12月期のサイバーセキュリティ市場は前年同期比15%増の196億ドルと2桁の成長を記録。ベンダー別の市場シェアでは、パロアルトが7.9%と前年同期の7.3%からシェアを拡大して、首位を維持した。



株価チャート (2019年以降・月足)

株価データ

株価(米ドル)	212.48 (05/30)
52週高値(日付)	219.5 (23/05/30)
52週安値(日付)	132.22 (23/01/12)
時価総額	650億ドル 9兆0.847億円
株価変化率(%)	25.1 (過去6ヶ月間) 25.8 (過去1年間)

株価指標 (バリュエーション)

実績PER	305.9 (倍)
株価売上高比率	9.9 (倍)
PBR	52.7 (倍)
税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	27.4 (%)
株式ベータ	1.03 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2021/07	4,256	25	-304	赤継	-499	赤継	-1.73	0.00
2022/07	5,502	29	-189	赤継	-267	赤継	-0.90	0.00

四半期業績

2022/Q3	1,387	—	-48	—	-73	—	-0.25	0.00
2023/Q3	1,721	24	79	黒転	108	黒転	0.31	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

従来の概念を覆した高級電気自動車メーカー

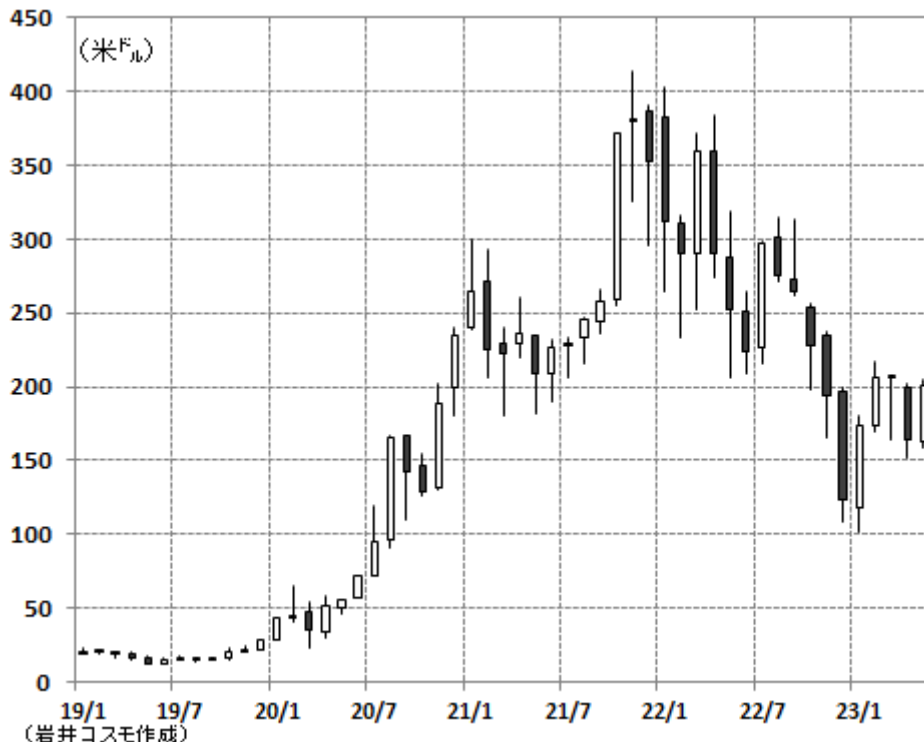
会社概要

2003年創業の世界最大の電気自動車(EV)の専門メーカ。高速・長距離走行が可能なEVの大量生産・開発を行う。2017年2月に社名を「テスラ・モーターズ」から「テスラ」に変更。2020年12月にテスラ株はS&P500種指数に採用された。最高経営責任者(CEO)のイーロン・マスク氏は宇宙開発ベンチャーのスペースXのCEOを兼任するなど、世界を代表するカスマ経営者として知られる。

注目ポイント

□ **メキシコEV新工場を発表、新車体でコスト半減へ**：テスラは3月1日に開催した投資家向けの説明会の中で、同社として5つ目となる電気自動車(EV)の新工場をメキシコ北部に建設すると発表した。EVの生産コスト半減に向けて開発中の次世代プラットフォーム(車体)に対応し、米国などへの輸出拠点とする。

□ **新型2車種を開発**：テスラのイーロン・マスクCEOは、5月16日に開催した株主総会で新型2車種の開発を進めていることを明らかにした。同社の年間販売台数の3倍強にあたる年500万台の生産も見込めるとし、これらが量販車になることをほのめかした。



株価チャート (2019年以降・月足)

株価データ

株価(米ドル)	201.16 (05/30)
52週高値(日付)	314.667 (22/08/16)
52週安値(日付)	101.83 (23/01/06)
時価総額	6,376億ドル 89兆1270億円
株価変化率(%)	3.3 (過去6ヶ月間) -20.6 (過去1年間)

株価指標 (バリュエーション)

実績PER	58.5 (倍)
株価売上高比率	7.4 (倍)
PBR	13.3 (倍)
税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	28.6 (%)
株式ベータ	1.63 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2021/12	53,823	71	6,523	227	5,519	665	1.63	0.00
2022/12	81,462	51	13,656	109	12,556	128	3.62	0.00

四半期業績

2022/Q1	18,756	—	3,603	—	3,318	—	0.95	0.00
2023/Q1	23,329	24	2,664	-26	2,513	-24	0.73	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

航空機製造の世界大手。民間旅客機部門が復活の兆し

会社概要

世界最大の民間機及び軍用機メーカ。回転翼航空機、電子及び防衛システム、ミサイル、ロケットエンジン、衛星、衛星打ち上げ機等の幅広い製品を世界90カ国以上に提供。主力の民間航空機部門は小型機「737MAX」が2度の墜落事故を起こし、出荷・運航を停止していたが、米連邦航空局(FAA)の承認を経て、20年12月に運航を再開。NYダウ工業株平均採用銘柄。

注目ポイント

□「737MAX」の一部機体の引き渡しを停止: ボーイングが主力小型機「737MAX」の一部の機体の引き渡しを停止したことが明らかとなった。垂直尾翼につながる後部胴体の製造品質に問題が発覚。サプライヤーのスピリット・エアロシステムズが担当した部分で、同社以外の部品メーカが担当した機体には問題がなかったとした。

□欧州エアバス越え: ボーイングが23年1-3月期に納入した機体数が四半期ベースの実績としては18年半ば以降で初めて、ライバルの欧州エアバスを上回った。ボーイングはここ数年はトラブル続きで低迷が続いていたが、回復軌道に回帰しつつあることが示唆された。



株価チャート (2019年以降・月足)

株価データ

株価(米ドル)	204.69 (05/30)
52週高値(日付)	221.32 (23/02/14)
52週安値(日付)	113.03 (22/06/14)
時価総額	1,231億ドル 17兆2,138億円
株価変化率(%)	14.4 (過去6ヶ月間) 54.8 (過去1年間)

株価指標 (バリュエーション)

実績PER	— (倍)
株価売上高比率	1.7 (倍)
PBR	— (倍)
税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	— (%)
株式ベータ	1.08 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2021/12	62,286	7	-2,902	赤継	-4,202	赤継	-7.15	0.00
2022/12	66,608	7	-3,547	赤継	-4,935	赤継	-8.30	0.00

四半期業績

2022/Q1	13,991	—	-1,169	—	-1,219	—	-2.06	0.00
2023/Q1	17,921	28	-149	赤継	-414	赤継	-0.69	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

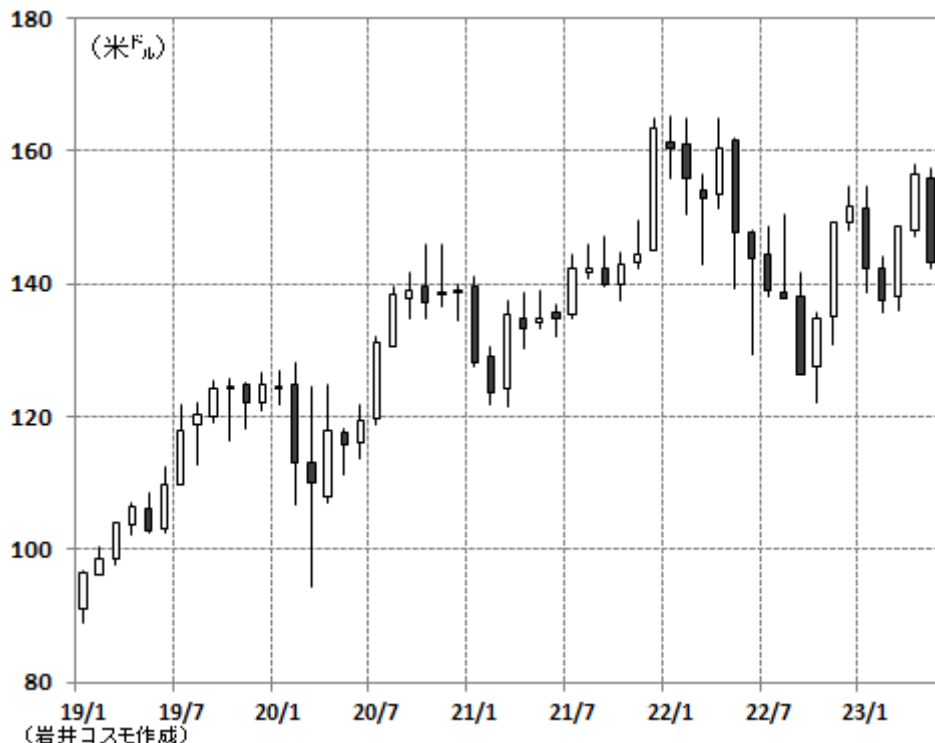
会社概要

世界最大の日用品メカ。「P&G」のブランド名で家庭用品、パーソナルケア用品、工業用製品の製造・販売に従事。世界180ヶ国、約50億人に製品を提供。1857年に設立、本社はオハイオ州シンシナティ。主力製品は洗剤「アリエール」、紙おむつ「パンパース」、化粧品「SK-II」、シャンプー「パンテン」等。22年4月に株主還元では66年連続して増配を宣言。1932年からニューヨークダウ30種平均構成銘柄に名を連ねる。

注目ポイント

□ **インフレ時代の「値上げ力」を市場は評価**: P&Gのジョン・メラ最高経営責任者(CEO)は値上げに関して、「過去18年間のうち、17年間で値上げは売上高にプラスの影響をもたらした。より高いレベルの商品を提供しさえすれば、さらに値上げも可能」との認識を示して値上げ余地を強調する。

□ **値上げが奏功、通期売上高見通しを上方修正**: P&Gが4月21日に発表した1-3月期の決算では、純利益は前年同期比1%増の34.0億ドルだった。インフレに伴う買い控えにより販売量は減少したものの、値上げの浸透により増収増益を確保。23年6月期通期の売上高成長率を前期比1%増とし、従来の1%減から上方修正した。



株価チャート (2019年以降・月足)

株価データ

株価(米ドル)	143.18 (05/30)
52週高値(日付)	158.1 (23/04/21)
52週安値(日付)	122.18 (22/10/10)
時価総額	3,375億ドル 47兆1,751億円
株価変化率(%)	-4.0 (過去6ヶ月間) -3.7 (過去1年間)

株価指標 (バリュエーション)

実績PER	25.0 (倍)
株価売上高比率	4.2 (倍)
PBR	7.6 (倍)
税前配当利回り(%)	2.63 (直近年率)
配当成長率(%)	4.5 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	31.7 (%)
株式ベータ	0.73 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2021/06	76,118	7	17,986	15	14,306	10	5.50	3.2419
2022/06	80,187	5	17,813	-1	14,742	3	5.81	3.5230

四半期業績

2022/Q3	19,381	—	4,024	—	3,355	—	1.33	0.8698
2023/Q3	20,068	4	4,248	6	3,397	1	1.37	0.9133

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

60年連続増配実績を有する世界を代表する大手飲料メーカー

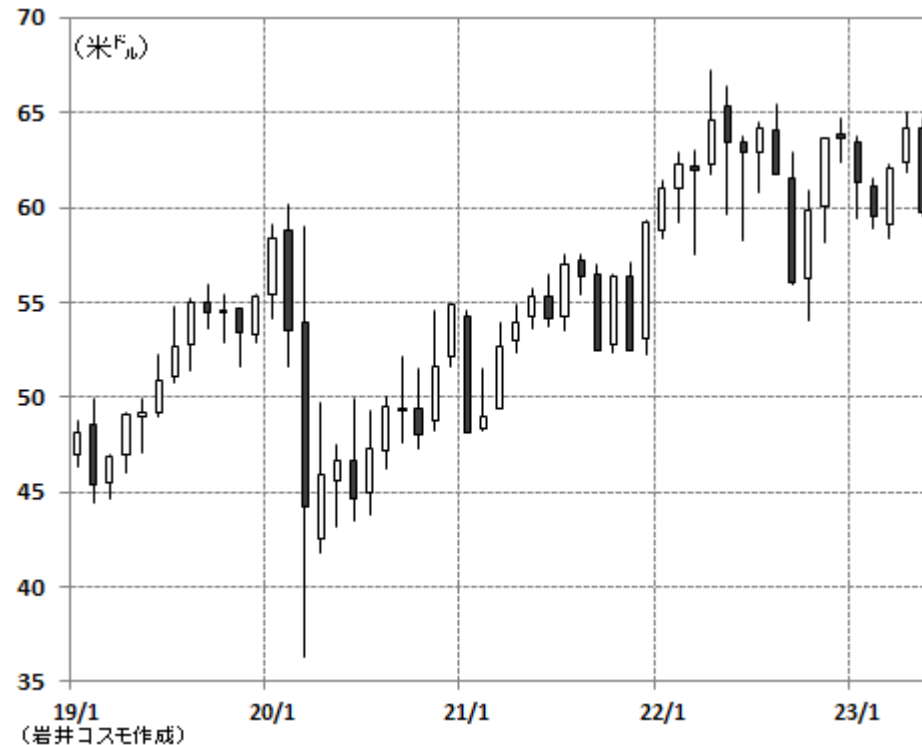
会社概要

世界的な清涼飲料水メカ。世界200超の国や地域で500以上の非アルコール飲料ブランドを製造・販売。世界販売数量の7割前後を炭酸飲料が占める。世界各地の瓶詰め(ボトリング)会社に飲料の原液を販売し、代表商品の「コカ・コーラ」の原液のレシピは、門外不出とされる。筆頭株主はバフェット氏率いるバークシャー・ハサウェイ(出資比率9%)。本社はジョージア州アトランタ、NYダウ工業株平均構成銘柄。

注目ポイント

□ **ブランド力のあるグローバル企業**: 販売数量の8割が米国外とグローバル化が進んだ企業であり、インターブランド社調べのブランド力は飲料・食料品メーカーでトップ。飲料ブランドには「コカ・コーラ」、「ダイエットコーク」、「ミニッツメイド」、「パワーエイド」、「ファンタ」、「スプライト」等のブランドがある。株主還元では、これまで60年連続の増配実績を持ち、同銘柄はS&P500配当貴族指数にも属する。

□ **1-3月期決算は値上げが奏功で増収増益**: コカ・コーラが4月24日に発表した23年1-3月期決算では、純利益が前年同期比12%増の31.0億ドルとなった。値上げが奏功したほか、販売数量も上向いて増収増益を確保した。



株価チャート (2019年以降・月足)

株価データ

株価(米ドル)	59.78 (05/30)
52週高値(日付)	65.46 (22/08/19)
52週安値(日付)	54.015 (22/10/10)
時価総額	2,585億ドル 36兆1,390億円
株価変化率(%)	-6.0 (過去6ヶ月間) -7.6 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)

実績PER	23.5 (倍)
株価売上高比率	5.9 (倍)
PBR	10.3 (倍)
税前配当利回り(%)	3.08 (直近年率)
配当成長率(%)	4.7 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	39.4 (%)
株式ベータ	0.71 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2021/12	38,655	17	10,308	15	9,771	26	2.25	1.68
2022/12	43,004	11	10,909	6	9,542	-2	2.19	1.76

四半期業績

2022/Q1	10,491	—	3,405	—	2,781	—	0.64	0.42
2023/Q1	10,980	5	3,367	-1	3,107	12	0.72	0.44

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

インシュリンを世界初で開発した企業。肥満症やアルツハイマー型認知症治療薬に注目集まる

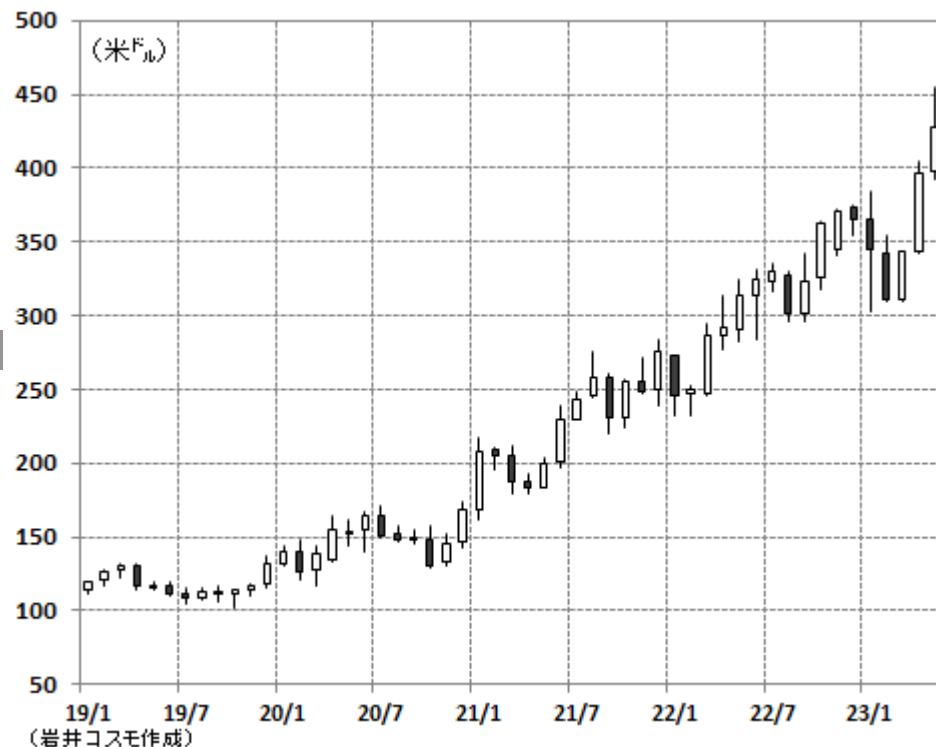
会社概要

米国製薬大手。インシュリンの実用化に世界で初めて成功した企業であり、神経系・内分泌・がん・循環器系の各分野で大型薬を販売。2019年2月にがん治療薬の開発のロキソ・オンコロジ-を買収、同年3月に動物医薬品事業の分離を完了。2021年1月に神経変性疾患の遺伝子治療薬を手がけるプリベイル・セラピューティクスを取得した。1876年創業、本社はインディア州インディアナポリス。

注目ポイント

□ **アルツハイマー治療薬など、新薬開発が充実**：承認審査中の新薬候補は次の4つがあり、①「レプリキスマブ(アピ-性皮膚炎)」、②「ピルトブルチニブ(白血病・リンパ腫)」、③「ミリキスマス(潰瘍性大腸炎)」、④「ドナネマブ(アルツハイマー型認知症)」。23年末までの上市(承認・販売開始)を見込んでいる。

□ **「ドナネマブ」に認知症の進行抑制効果**：イーライリリーは5月3日、開発中のアルツハイマー治療薬「ドナネマブ」について、症状の悪化を遅らせる効果があったことを治験で証明できたと発表。6月末までに米食品医薬品局(FDA)に承認に向けた申請を行うとした。



株価チャート (2019年以降・月足)

株価データ

株価(米ドル)	427.24 (05/30)
52週高値(日付)	454.8 (23/05/22)
52週安値(日付)	283.15 (22/06/16)
時価総額	4,056億ドル 56兆6,943億円
株価変化率(%)	15.1 (過去6ヶ月間) 32.1 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)

実績PER	59.4 (倍)
株価売上高比率	13.9 (倍)
PBR	36.2 (倍)
税前配当利回り(%)	1.06 (直近年率)
配当成長率(%)	15.3 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	55.4 (%)
株式ベータ	0.72 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	税引前利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2021/12	28,318	15	6,156	-15	5,582	-10	6.12	3.40
2022/12	28,541	1	6,806	11	6,245	12	6.90	3.92

四半期業績

2022/Q1	7,810	—	2,054	—	1,903	—	2.10	0.98
2023/Q1	6,960	-11	1,530	-26	1,345	-29	1.49	1.13

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

播陽証券

社名 (ティッカー)

インテュイティブ・サージカル(ISRG)

上場市場

ナスダック

セクター

医療設備

外科手術ロボットを製造・販売。手術件数の伸びが日本など海外中心に伸長

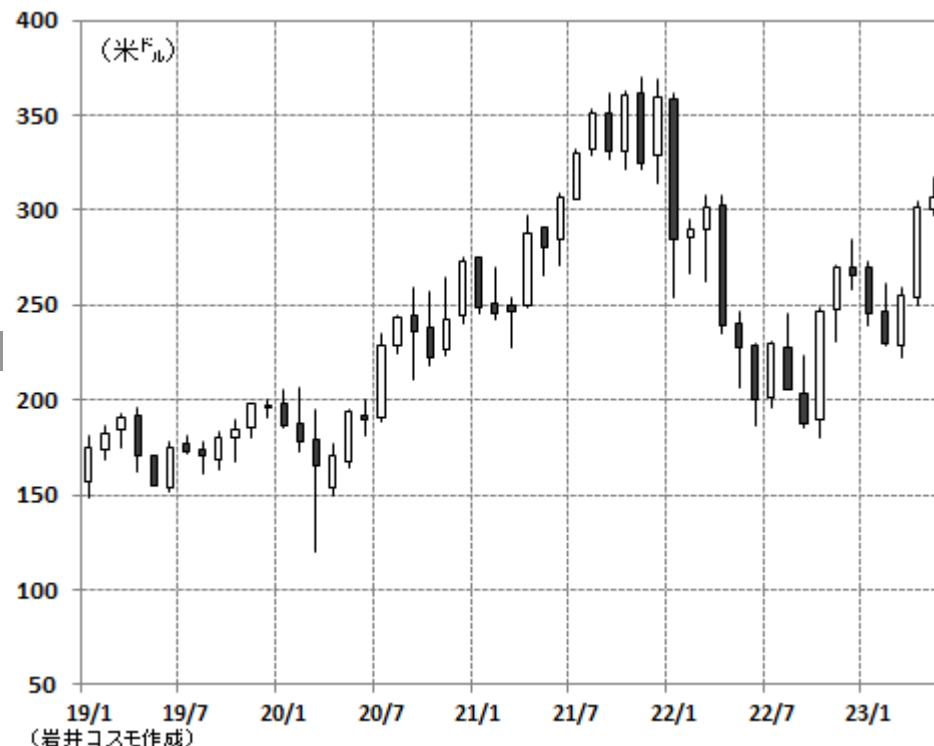
会社概要

「ダ・ビンチ」手術システム(遠隔操作型の外科手術ロボット)を製造・販売する。切開部分は小さく、患者に負担の少ない手術を提供できるのが特徴。日本の病院でも同社ロボット手術が普及。21年末時点の稼働状況は、全世界で6,730台。22年度の全世界の手術件数実績は約188万件。日本は450台以上が設置され、手術の保険適用の範囲が広がる有望市場。

注目ポイント

□ **体への負担の少ない医療を実現するロボット**: 手術ロボット「ダ・ビンチ」は執刀医の手の動きに連動した4本のロボットアームに手術器具が装着され、執刀医は手術台から離れた机で3次元映像を見ながらアームを遠隔操作する。切開部分が小さく、体内の細かい操作が可能で出血量や手術後の痛みを減らせるほか、入院期間の短縮、後遺症も少ないなど患者側に利点が多いとされる。

□ **23年1-3月期は手術件数が好調**: インテュイティブが4月18日に発表した23年1-3月期決算では、売上高と調整後1株利益が市場予想を上回った。手術ロボット「ダ・ビンチ」を使った手術件数が前年同期比で26%増加した。



株価チャート (2019年以降・月足)

株価データ

株価(米ドル)	307.07 (05/30)
52週高値(日付)	317.81 (23/05/22)
52週安値(日付)	180.34 (22/10/13)
時価総額	1,076億ドル 15兆0,409億円
株価変化率(%)	13.6 (過去6ヶ月間) 34.0 (過去1年間)

株価指標 (バリュエーション)

実績PER	82.1 (倍)
株価売上高比率	16.9 (倍)
PBR	9.6 (倍)
税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	11.3 (%)
株式ベータ	1.28 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2021/12	5,710	31	1,821	73	1,705	61	4.66	0.00
2022/12	6,222	9	1,577	-13	1,322	-22	3.65	0.00

四半期業績

2022/Q1	1,488	—	408	—	366	—	1.00	0.00
2023/Q1	1,696	14	388	-5	355	-3	1.00	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

国際オイルメジャーの一角、連続増配30年超の配当貴族、バークシャー積極投資

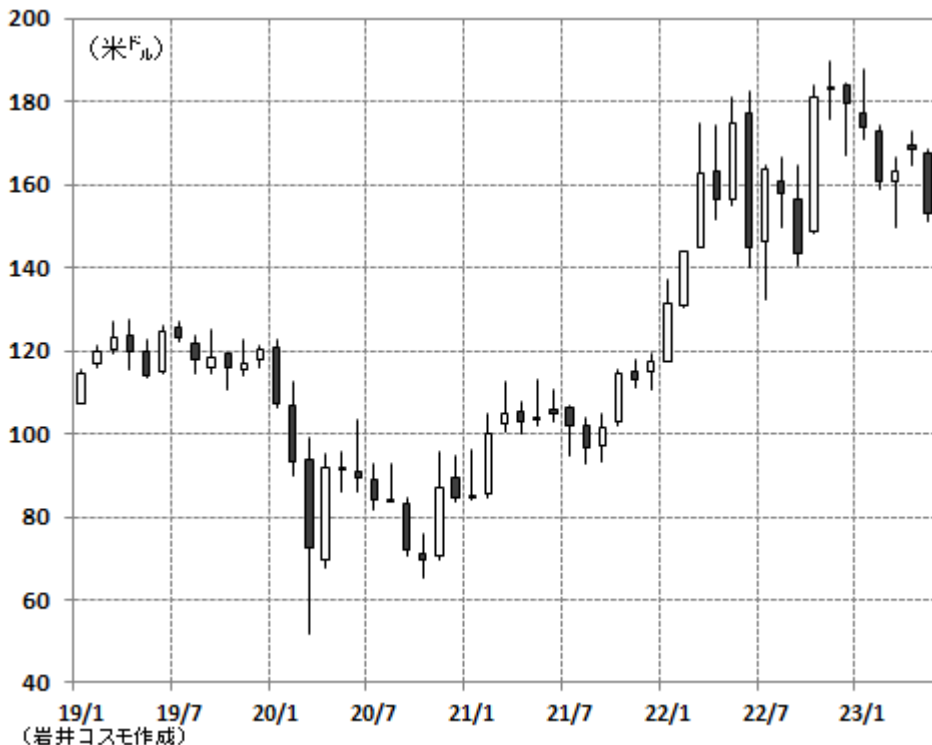
会社概要

国際オイルメジャーの一角で川上(石油・天然ガスの探査・開発)から川下(精製・販売)まで総合的に手掛ける。米国、カナダ、ブラジル、ナイジェリア、インドネシア等に鉱区を保有し、北米や欧州ではシェール鉱区の開発も行う。21年末の確認埋蔵量は113億石油換算バレル。本社はカリフォルニア州サン・ラモン、従業員数は43,846名(22年末)。設立は1879年、エネルギー業種で唯一のNYダウ工業株平均構成銘柄。

注目ポイント

□ **連続増配は36年目に、750億ドルの自社株買いも**：シェブロンは1月25日、36年目となる連続増配を発表。S&P500種の配当貴族(継続増配25年以上)構成銘柄で、エネルギー業界は同社とエクソン・モビルのみ。同日には新たに750億ドルの自社株買いを行う計画も発表した。好業績を背景に高水準の株主還元策を継続する。

□ **バフェット氏率いるバークシャーが積極投資**：バークシャーが同社株式への投資を22年第1四半期より積極化。2023年第1四半期には保有株の一部を売却したものの、依然7%弱の同社株を保有している。



株価チャート (2019年以降・月足)

株価データ

株価(米ドル)	153.12 (05/30)
52週高値(日付)	189.67 (22/11/14)
52週安値(日付)	132.54 (22/07/14)
時価総額	2,901億ドル 40兆5,542億円
株価変化率(%)	-16.5 (過去6ヶ月間) -14.1 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)

実績PER	7.8 (倍)
株価売上高比率	1.3 (倍)
PBR	1.8 (倍)
税前配当利回り(%)	3.94 (直近年率)
配当成長率(%)	6.2 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	23.4 (%)
株式ベータ	0.73 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	税引前利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2021/12	162,465	72	21,639	黒転	15,625	黒転	8.14	5.31
2022/12	246,252	52	49,674	130	35,465	127	18.28	5.68

四半期業績

2022/Q1	54,373	—	9,054	—	6,259	—	3.22	1.42
2023/Q1	50,793	-7	9,519	5	6,574	5	3.46	1.51

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

■商号等

取引注意事項

商号等： 播陽証券株式会社

金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第29号

加入協会：日本証券業協会

■播陽証券の手数料及び投資リスクについて

- ①上場国内株券等委託取引の際には、約定代金に対して最大1.2265% (税込み、ただし最低2,750円)の委託手数料をご負担いただきます。
 - ②上場外国株券等委託取引の際には、約定代金(円貨)が7.5万円以下の場合は11.0%(税込)、7.5万円超50万円以下の場合は8,250円(税込)、50万円超の場合は最大で(約定代金の1.00%+2,500円)×1.1(税込)の委託手数料加算額、その他に現地取引所税等の取引手数料をご負担いただきます。
 - ③上場外国株券等店頭取引の際には、購入対価のみをお支払いいただきます。
 - ④投資信託のお取引の際には、下記の販売手数料及び信託報酬等の諸経費をご負担いただきます。
 - 販売手数料(購入価額に対して最大3.85%(税込))
 - 信託財産留保額(換金申込日、または換金申込日の翌営業日の基準価格に対して最大0.50%)
 - 信託報酬(信託財産の総資産総額に対して年率最大2.2%(税込))
 - その他、ファンドの監査費用等
- ◇株式や投資信託は投資元本が保証されているものではなく、価格や為替の変動により損失が生じるおそれがあります。商品ごとに手数料等やリスクは異なりますので、お取引の際には、契約締結前交付書面やお客様向け資料をよくお読み下さい。

■免責事項

- 当資料は、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としております。当資料で言及した銘柄や投資戦略は、投資に関するご経験や知識、財産の状況及び投資目的が異なるすべてのお客様に、一律に適合するとは限りません。投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断で行っていただきますようお願いいたします。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて播陽証券がお客様にご提供いたしますが、見解の正確性、完全性、適時性などを保証するものではありません。
 - ※本資料の情報の一部は、岩井コスモ証券株式会社より取得しております。
- 当資料の情報を基に投資を行った結果、お客様に何らかの損害が発生した場合でも、播陽証券は理由の如何を問わず、一切責任を負いません。